

風致地区内行為許可申請書等記入要領

風致地区内行為の許可申請は、許可申請書・施行方法書に図面を添付していただき、申請時には、図面により説明していただきます。根拠等に不整合があると受け付けられませんので事前に十分チェックしてください。

また、県及び市町村の土地利用事業指導要綱等の承認並びに開発行為予備審査が必要なものは、事前にその承認を取ってください。

- 申請書及び施行方法書に記載する数字には、必ず図面に数字の根拠（寸法線、計算表、計算式、求積図）の明示が必要となります。
- 申請書及び施行方法書記載数字と図面上の数字が一致し、かつ、図面の根拠には、マーキング（蛍光ペン等）してください。
- 申請書、施行方法書及び図面に記載する数値の取扱いについては、他の法令等に基準等が定められている場合はそれによることとし、その定めがない場合については、小数点以下がある場合は小数点以下3位を切り捨ててください。（24.546→24.54）
- 施行方法書と図面の数字桁数を一致させてください。
- 修正の場合は、線を引いて消し、必ず訂正印を押してください。
- 書き方がよく分からない項目は、鉛筆書きにしておいてください。

1 許可申請書（第1号様式）記入要領

(1) 地目及び面積

- ・ 地目…田、畑、宅地、山林、原野、池沼、その他の区分で記入してください。
- ・ 面積…敷地又は行為地の面積を記入し、敷地又は行為地が風致地区の内外にまたがる場合は、上段（ ）書きで風致地区内面積を、第1種と第2種風致地区にまたがる場合は、上段< >書きで第1種風致地区面積を記入してください。

(2) 行為の種類

行為の種類により施行方法書を提出して頂きますが、申請する行為のすべてを○で囲んでください。

(3) 行為の期間

着手及び完了年月日又は着手の日からの工期を記入してください。完了年月日は植栽完了年月日とします。

※ 敷地・建築物が風致地区の内外にわたる場合、又は種別の違う風致地区にまたがる場合はご相談ください。

2 建築物等の新築、改築等の施行方法書（第2号様式）記入要領

(1) 建築面積

増築の場合は、既存の建築物と増築部分の合計の面積を記入し、上段（ ）書きで増築部分の面積を記入して下さい。既存建築物の図面、面積根拠、増築部分の図面・面積根拠共に必要となります。

(2) 敷地面積

敷地の3斜求積図等（座標計算でも可）の根拠が確認できる図面を添付してください。

(3) 建築面積の敷地面積に対する割合（建ぺい率）

建築確認申請と同様の方法で算出して記入してください。

(4) 高さ

平均地盤面からの高さを立面図に記入して下さい。平均地盤面が複数ある場合は、図面上ではすべての平均地盤面とそこからの建築物の高さを記入し、それらのうち最大の高さをマーキングし、施行方法書にはその最大の高さを転記してください。また、平均地盤面算定図・算定式を添付してください。

(5) 外壁の後退距離

配置図に、後退距離を有効距離（壁芯でなく外壁からの距離）の寸法線で表示し、数字をマーキングしてください。

(6) 地盤面の高低差

建築物の基礎、柱、壁等が地表面と接している所の一番高い部分と、一番低い部分の高低差を記入してください。

(7) 用途・構造

該当する部分を○で囲んで下さい。建築確認申請と同様に記入してください。

(8) 外部仕上げ等の材料及び色彩

2面以上の立面図に色鉛筆等で着色し、色名と材質を記入してください。

(9) 敷地内の施設

既設建築物、工作物等の概要（高さ、建築面積等）について記入してください。

(10) 緑地の面積

・1000㎡以上：緑地面積及び緑化換算面積（下段（ ）書き）を記入してください。緑地の面積求積表（自然の緑地・人工の緑地ともに必要です。）を添付してください。

・1000㎡未満：緑化換算面積を記入してください。

(11) 緑地率（緑化率）

・1000㎡以上：緑地率（ $\text{緑地面積} \div \text{行為地面積}$ の小数点以下3位を切り捨て）及び緑化率（ $\text{緑化換算面積} \div \text{行為地面積}$ の小数点以下3位切り捨て）を下段（ ）書きで記入してください。

・1000㎡未満：緑化率（ $\text{緑化換算面積} \div \text{行為地面積}$ の小数点以下3位切り捨て）を記入してください。

(12) 植栽の内訳

既存（保存樹）及び新植の植栽について、本数及び生け垣の延長を記入してください。

3 宅地の造成等の施行方法書（第3号様式）記入要領

(1) 面積

造成及び土地の形質変更（樹木の伐採のみの場合も含む。）の総面積を記入してください。

(2) 土量

切土、盛土の総土量を記入してください。

(3) 行為の目的

住宅地造成、農地造成等行為の目的を具体的に記入してください。

(4) 行為地の現況

宅地、田、畑、山林、原野、その他の別に記入し、現況が複数の地目にわたっている場合は、その面積を記入してください。

(5) 土留の方法

切土及び盛土によって生じるのり面の構造（種子吹付け、張芝等）及び規模（高さ、段数）、土留擁壁の構造及び規模（高さ、延長）等を記入してください。

(6) 排水工事

排水施設の構造（U型側溝、ヒューム管等）及び規模（幅、径、延長）を記入してください。

(7) 河川又は溪流との距離

排水の流入先の河川又は溪流の名称と敷地からの距離を記入してください。

(8) 緑地の面積

1000 m²以上：緑地面積及び緑化換算面積（上段（ ）書き）を記入してください。

1000 m²未満：緑化換算面積を記入してください。

また、緑地の面積求積表（自然の緑地・人工の緑地ともに必要です。）を添付してください。

(9) 緑地率

1000 m²以上のものについて記入してください。緑地面積÷敷地面積の小数点以下3位を切り捨てて記入してください。

(10) 緑化率

緑化換算面積÷敷地面積の小数点以下3位を切り捨てて記入してください。1000 m²以上のものについては上段（ ）書きで記入してください。

(11) 植栽の内訳

既存（保存樹）及び新植の植栽について、本数及び生け垣の延長を記入してください。

4 木竹の伐採の施行方法書（第4号様式）記入要領

(1) 行為の種類

森林地内の伐採（択伐、皆伐）、森林地以外の伐採（集団、単独）等の区分を記入してください。

(2) 伐採の理由

森林の間伐、建築物等の新築、宅地の造成、土地の開墾等具体的に記入してください。

(3) 行為地の面積

伐採区域の総面積を記入してください。また、求積図等の根拠がわかる図面を添付してください。

(4) 樹種

伐採予定の主要樹種を記入してください。

(5) 樹齢

伐採予定の主要樹種の樹齢範囲を記入してください。

(6) 樹高

伐採予定の主要樹種の樹高を記入してください。

(7) 樹量

伐採予定本数を記入してください。

(8) 跡地利用計画

建築物等の新築、宅地の造成、土地の開墾等の利用計画と修景緑化について記入してください。

5 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積の施行方法書(第7号様式) 記入要領

(1) 堆積の理由

申請に係る場所において堆積を行う理由を具体的に記入してください。

(2) 行為地の面積

堆積を行う一団の土地の面積を記入してください。

(3) 行為地の現況

宅地、田、畑、山林、原野、その他の別に記入し、現況が複数の地目にわたっている場合は、その面積を記入してください。

(4) 堆積物の種類

堆積する土石、廃棄物又は再生資源の種類を具体的に記入してください。

(5) 堆積する土地の面積

実際に土石、廃棄物又は再生資源を堆積する土地の面積を記入してください。

(6) 堆積物の数量

堆積する土石、廃棄物又は再生資源の数量を立方メートルで記入してください。

(7) 堆積物の高さ

堆積する土石、廃棄物又は再生資源の最高部における高さを記入してください。

(8) 堆積の期間

堆積を行う期間及びその理由を記入してください。

(9) 行為地及びその周辺の土地における風致の維持のためにとった措置の概要

堆積を行うことにより行為地及びその周辺の土地における風致に影響を及ぼさないようにするためにとった植栽その他の措置の概要について記入してください。

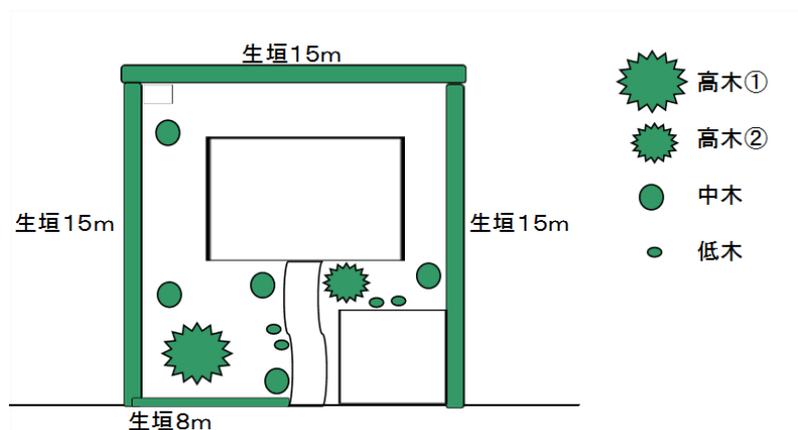
●添付図書

施行内容によって、必要な添付図書が異なります。詳しくは、各施行方法書の「備考」を参考にしてください。

①	案内図	1/2500 程度の実測図を添付してください。方位、施行箇所、道路、河川、鉄道等の目標となるもの、縮尺を記入してください。
②	公図写し	方位、地名、地番、地目、土地登記簿記載者名、敷地境界線を記入してください。
③	現況図	1/300 以上の図面を添付してください。 【宅地の造成等の場合】 敷地境界線、等高線、断面図の位置等を記入してください。 【木竹の伐採の場合】 敷地境界線、既存樹木の本数、樹種、規格を記入し、伐採する木竹の位置、本数を明記してください。行為地が 1,000 m ² 以上の場合は、現況植生調査表を添付してください。 【土石等の堆積の場合】 方位及び行為地の境界線を記入してください。
④	配置図	1/300 以上の図面を添付してください。敷地境界線を明示し、建築物及び建築物間の距離、工作物、敷地に接する道路、断面図の位置等を記入してください。
⑤	植栽計画図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図面には緑化面積の計算表を載せてください。(図 1 参照) ・ 樹木部分に着色してください。 ・ 生け垣部分については延長を図面に記入してください。また、生け垣が交差する部分については、生け垣の厚みを引いてください。
⑥	平面図	【建築物の新築等の場合】 方位、間取り及び各室の用途、建築物の幅を記入してください。 【土石等の堆積の場合】 土石、廃棄物又は再生資源を堆積する位置、植栽その他の措置の状況、断面図の位置等を記入してください。
⑦	立面図	2 面以上の立面図に着色し、色名材質を記入してください。
⑧	断面図	建築物の断面、現況地盤面、設計地盤面及び平均地盤面の状況等の他、平均地盤面からの高さ、地盤面の高低差、敷地境界線、工作物、木竹等の位置及び高さを表示し、申請書の根拠となる数値には、蛍光ペン等でマーキングしてください。
⑨	縦・横断面図	【宅地の造成等の場合】 切土部分を黄色、盛土部分を赤で着色し、擁壁及びのり面の構造・規模を記入してください。 【土石等の堆積の場合】 堆積物の断面、現況地盤面、堆積物の位置及び高さ等を記入してください。

⑩	地盤算定図	建築物が接する設計地盤面及び平均地盤面の状況を図示してください。平均地盤面算定表を添付してください。
⑪	敷地面積等算定図	建築物の敷地面積、建築面積の求積図に求積表を添付してください。
⑫	緑地面積算定図	敷地面積 1,000 m ² 以上のものについては、植栽によって覆われる土地の面積の求積図及び求積表を添付してください。
⑬	行為地面積等算定図	行為地並びに造成及び土地の形質変更区域の求積図に求積表を添付してください。
⑭	現況写真	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東西南北方向から撮影し、写真方向を明示してください。 ・ 行為区域等をマーカーペン等で写真上に表示してください。
⑮	出来上がり予定図	宅地割、道路、公園、擁壁の位置、植栽計画等の土地利用計画図を作成してください。植栽計画については樹木一覧表を添付してください。

図1 植栽計画図



樹種名	区分	樹高※	数量	換算値	緑化面積
キンモクセイ	高木①	4.0m	1本	14 m ² /本	14.0 m ²
シモクレン	高木②	3.0m	1本	8 m ² /本	8.0 m ²
イロハモミジ	中木	1.2m	5本	4 m ² /本	20.0 m ²
ドウダンツツジ	低木	0.8m	4本	1 m ² /本	4.0 m ²
—	株物	—	—株	0.25 m ² /株	0 m ²
イヌツゲ	生垣	0.8m	53m	0.5 m ² /m	26.5 m ²
計					72.5 m²
緑化率 (緑化面積/敷地面積) 72.5 / 225 =					32.2%

※樹高は植樹時の高さ